



## 「失敗談」



小学生の頃の失敗談です。

### <プラモデルこわしてしまった事件>

がくじ少年（私）が4年生の頃、3年生のいとこの家に遊びに行った時のことです。いとこの太郎ちゃん（仮名）がロボットのプラモデルを箱から出して見せてくれて、それで遊んでいました。そのうち太郎ちゃんがトイレに行きました。その間、がくじ少年はそのプラモデルで遊んでいましたが、何かの拍子で、ロボットの腕がとれてしまったのです。がくじ少年は慌てて何とかその腕をはめようとしたのですが、全然はまりませんでした。そこでがくじ少年は、そのロボットのプラモデルを腕がとれたまま箱に戻し、太郎ちゃんがトイレから戻ってきたら、「外で遊ぼう」といって外で遊び、そのまま帰ってしまいました。



### <通学団けつとばしてしまった事件>

がくじ少年が5年生の頃、通学団ごとに帰る一斉下校の時のことです。がくじ少年は通学団長としてみんなを並ばせていました。その時、同じ5年生の次郎くん（仮名）が友だちとしゃべっていて、がくじ少年が言っても、ちっとも並びませんでした。がくじ少年はイライラして「早く並びって」と言うと、ふだんおとなしい次郎くんが「なんで俺ばかりに言うんだよ。〇〇だってしゃべってるのに」と言いました。がくじ少年は腹を立てて、思わず「うるさいわっ」と言って、次郎くんのお尻をけつとばしてしまいました。次郎くんは、その場にしゃがみ込み、泣いてしまいました。



### <友だち怒らせてしまった事件>

がくじ少年が6年生の頃、休み時間に友だちの三郎くん（仮名）としゃべっていた時のことです。冗談でお互いの親のことを「おまえの父ちゃん〇〇だもんな」みたいに悪く言い合って、笑っていました。そしたら、急に三郎くんが怒り出して「絶対、許さん」と言って殴ろうとしてきたのです。がくじ少年はびっくりして逃げ出して、追いかけてこになり、最後は蹴ったりたたいたり喧嘩になってしまいました。



どの事件も、最低ですね。がくじ少年は、どうすればよかったのでしょうか。このことについて、11月26日（火）の児童集会でも東栄っ子たちと考えたいと思います。11月25日（月）～12月20日（金）は尾張旭市の人権月間です。お子様に、児童集会でどんな話があったのか聞いてあげてください。そして、この話題をきっかけに、ご家庭でも、自分と同様に他の人も大切にするにはどうすればいいのかをお子様と一緒に話し合っただけだとありがたいです。そうすることが、東栄小学校にますます「ありがとうの花」を咲かせることにもつながると思います。

（校長 中島学路）